

ASA 8.x : ASA で AnyConnect VPN Client のスプリット トンネリングを許可するための設定例

内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[背景説明](#)

[設定](#)

[ネットワーク図](#)

[ASDM 6.0\(2\) を使用した ASA 設定](#)

[ASA CLI の設定](#)

[SVC との SSL VPN 接続の確立](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、Cisco Adaptive Security Appliance(ASA)8.0.2にトンネル接続されている状態でCisco AnyConnect VPNクライアントからインターネットにアクセスする方法を順を追って説明します。この設定では、スプリットトンネリングを使用してセキュアでないアクセスを許可します。

前提条件

要件

この設定を行う前に、次の要件が満たされていることを確認します。

- ASA セキュリティ アプライアンスはバージョン 8.x を稼動する必要があります。
- Cisco AnyConnect VPN Client 2.x注：AnyConnect VPN Client/パッケージ(anyconnect-win*.pkg)は、Cisco [Software Download](#)(登録ユーザ専用)からダウンロードします。AnyConnect VPN クライアントを ASA のフラッシュ メモリにコピーします。これは、ASA との SSL VPN 接続を確立するためにリモート ユーザ コンピュータにダウンロードされます。詳細については、ASA コンフィギュレーション ガイドの「AnyConnect クライアントのインストール」を参照してください。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づいています。

- ソフトウェア バージョン 8.0(2) が稼働している Cisco 5500 シリーズ ASA
- Windows 2.0.0343 用のバージョンの Cisco AnyConnect SSL VPN Client
- Microsoft Installer バージョン 3.1 によって Microsoft Vista、Windows XP SP2、または Windows 2000 Professional SP4 が稼働している PC
- Cisco Adaptive Security Device Manager (ASDM) バージョン 6.0(2)

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期 (デフォルト) 設定の状態から起動しています。対象のネットワークが実稼働中である場合には、どのようなコマンドについても、その潜在的な影響について確実に理解しておく必要があります。

表記法

ドキュメント表記の詳細については、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

背景説明

Cisco AnyConnect VPN Client は、リモート ユーザのためにセキュリティ アプライアンスへのセキュアな SSL 接続を提供しています。以前にインストールしたクライアントがない場合、リモート ユーザは SSL VPN 接続を受け入れるように設定したインターフェイスのブラウザに IP アドレスを入力します。セキュリティ アプライアンスが http:// 要求を https:// にリダイレクトするように設定されていない場合、ユーザは https://<address> の形式で URL を入力する必要があります。

URL を入力した後、ブラウザは、そのインターフェイスに接続し、ログイン画面を表示します。ユーザがログインと認証を満たし、セキュリティアプライアンスがユーザをクライアントが必要であると識別すると、リモートコンピュータのオペレーティングシステムに一致するクライアントをダウンロードします。ダウンロード後、クライアントは自身をインストールして設定し、セキュアな SSL 接続を確立して、接続が終了したときに自身を残すか、アンインストールします (これは、セキュリティ アプライアンスの設定に従います)。

以前にインストールされているクライアントの場合、ユーザが認証を行うと、セキュリティアプライアンスはクライアントのリビジョンを調査して、必要に応じてクライアントをアップグレードします。

クライアントは、セキュリティ アプライアンスと SSL VPN 接続をネゴシエートすると、Transport Layer Security (TLS) を使って接続し、オプションで Datagram Transport Layer Security (DTLS) に接続します。DTLS は、SSL 接続の一部に関連する遅延と帯域幅の問題を回避し、パケット遅延の影響を受けやすいリアルタイム アプリケーションのパフォーマンスを向上させます。

AnyConnect クライアントは、セキュリティ アプライアンスからダウンロードすることも、システム管理者がリモートの PC に手動でインストールすることもできます。クライアントを手動でインストールする方法の詳細については、『[Cisco AnyConnect VPN Client 管理者ガイド](#)』を参照してください。

セキュリティ アプライアンスは、グループ ポリシーや接続を確立するユーザのユーザ名属性に基づいてクライアントをダウンロードします。セキュリティ アプライアンスは、クライアントを自動的にダウンロードするように設定することも、クライアントをダウンロードするかどうかをユーザにプロンプトで表示してから設定することもできます。後者の場合、ユーザが応答しないときには、タイムアウト期間が経過した後にクライアントをダウンロードするか、ログイン ページを表示するか、いずれかを実行するようにセキュリティ アプライアンスを設定できます。

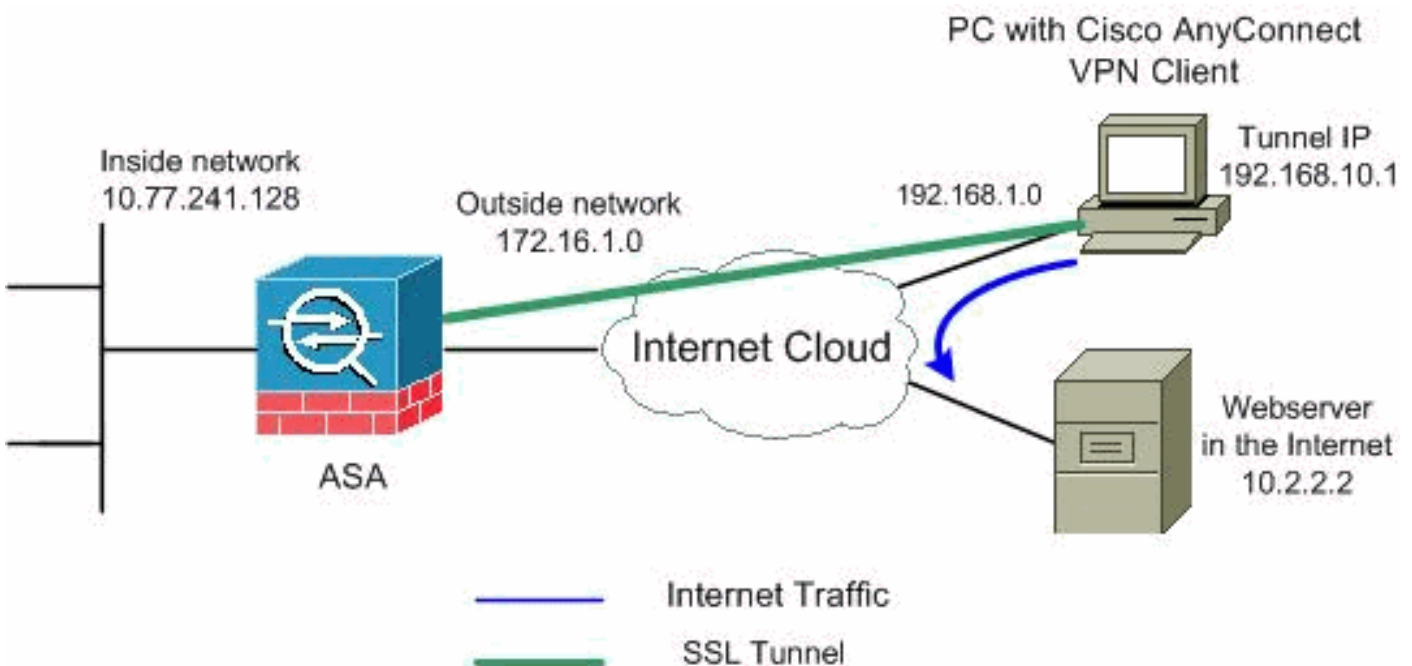
設定

このセクションでは、このドキュメントで説明する機能を設定するために必要な情報を提供しています。

注：このセクションで使用されているコマンドの詳細を調べるには、**Command Lookup Tool** (登録ユーザ専用) を参照してください。一部ツールについては、ゲスト登録のお客様にはアクセスできない場合がありますことをご了承ください。

ネットワーク図

このドキュメントでは、次のネットワーク セットアップを使用します。



注：この設定で使用されるIPアドレッシング方式は、インターネット上で正式にルーティング可能なものではありません。これらは、ラボ環境で使用された [RFC 1918](#) のアドレスです。

ASDM 6.0(2) を使用した ASA 設定

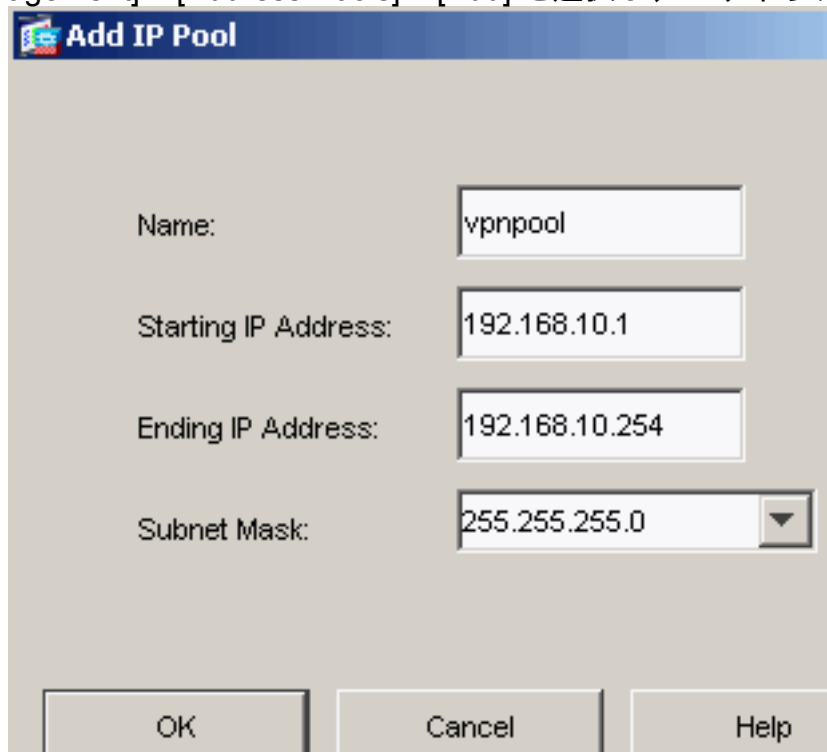
このドキュメントは、インターフェイス設定などの基本設定がすでに行われていて適切に動作していることを前提としています。

注：ASAをASDMで設定するには、[『ASDMでのHTTPSアクセスの許可』](#)を参照してください。

注：ポート番号を変更しない限り、WebVPNとASDMを同じASAインターフェイスで有効にすることはできません。詳細は、「[ASA の同じインターフェイスでイネーブルになる ASDM および WebVPN](#)」を参照してください。

次の手順を実行すると、ASA 上でスプリット トンネリングを備えた SSL VPN を設定できます。

1. [Configuration] > [Remote Access VPN] > [Network (Client) Access] > [Address Management] > [Address Pools] > [Add] を選択し、IP アドレス プール vpnpool を作成しま



The screenshot shows a configuration window titled "Add IP Pool". It contains the following fields and values:

Field	Value
Name:	vpnpool
Starting IP Address:	192.168.10.1
Ending IP Address:	192.168.10.254
Subnet Mask:	255.255.255.0

At the bottom of the window are three buttons: "OK", "Cancel", and "Help".

す。

2. [Apply] をクリックします。同等の CLI 設定
3. WebVPN をイネーブルにします。[Configuration] > [Remote Access VPN] > [Network (Client) Access] > [SSL VPN Connection Profiles] を選択し、[Access Interfaces] の下で、外部インターフェイスに対して [Allow Access] と [Enable DTLS] のチェックボックスをオンにします。また、[Enable Cisco AnyConnect VPN Client or legacy SSL VPN Client access on the interface selected in the table below] チェックボックスをオンにし、外部インターフェイスで SSL VPN を有効にします。

Configuration > Remote Access VPN > Network (Client) Access > SSL VPN Connection Profiles

The security appliance automatically deploys the Cisco AnyConnect VPN Client or legacy SSL VPN Client to client deployment requires end-user administrative rights. The Cisco AnyConnect VPN Client supports the Layer Security (DTLS) tunneling options.

(More client-related parameters, such as client images and client profiles, can be found at [Client Settings](#))

Access Interfaces

Enable Cisco AnyConnect VPN Client or legacy SSL VPN Client access on the interfaces selected in the

Interface	Allow Access	Require Client Certificate	Enable DTLS
outside	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
inside	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

Access Port:

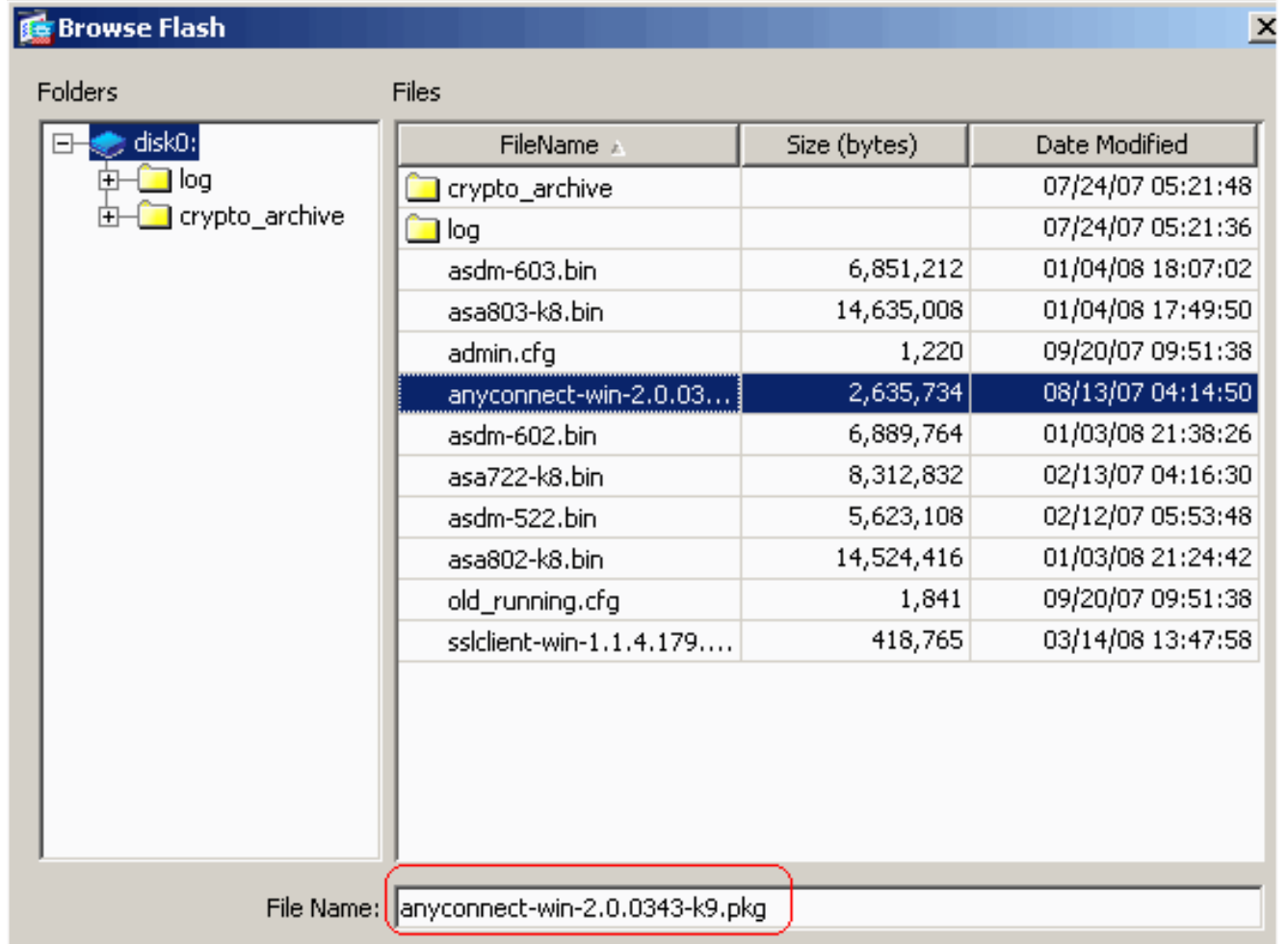
443

DTLS Port:

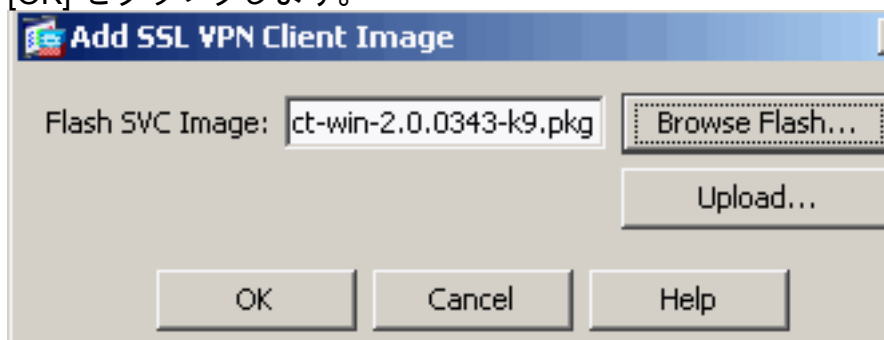
443

Click here to [Assign Certificate to Interface](#).

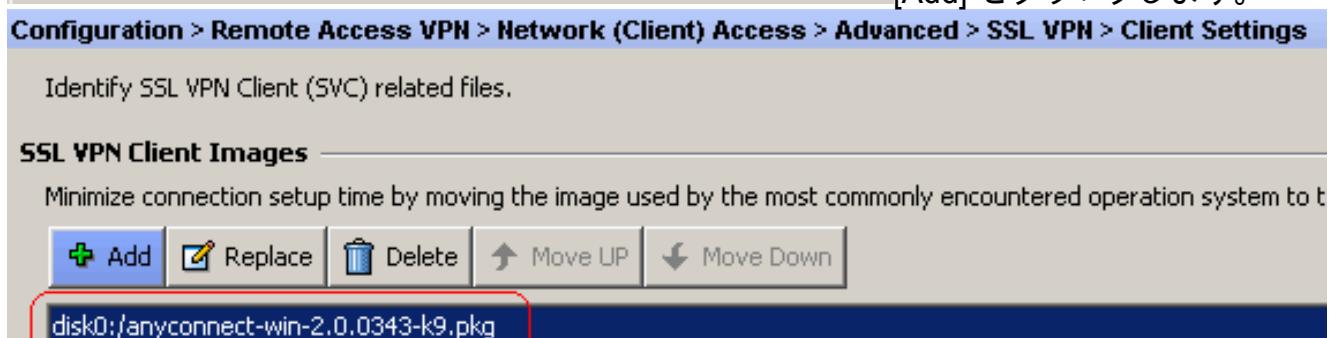
[Apply] をクリックします。 [Configuration] > [Remote Access VPN] > [Network (Client) Access] > [Advanced] > [SSL VPN] > [Client Settings] > [Add] を選択し、次に示すように Cisco AnyConnect VPN のクライアント イメージを ASA のフラッシュ メモリから追加します。



[OK] をクリックします。

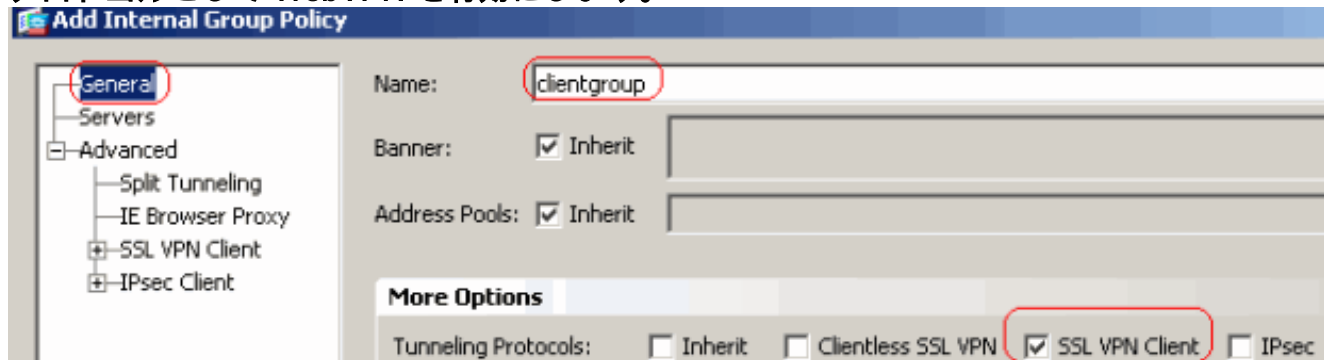


[Add] をクリックします。

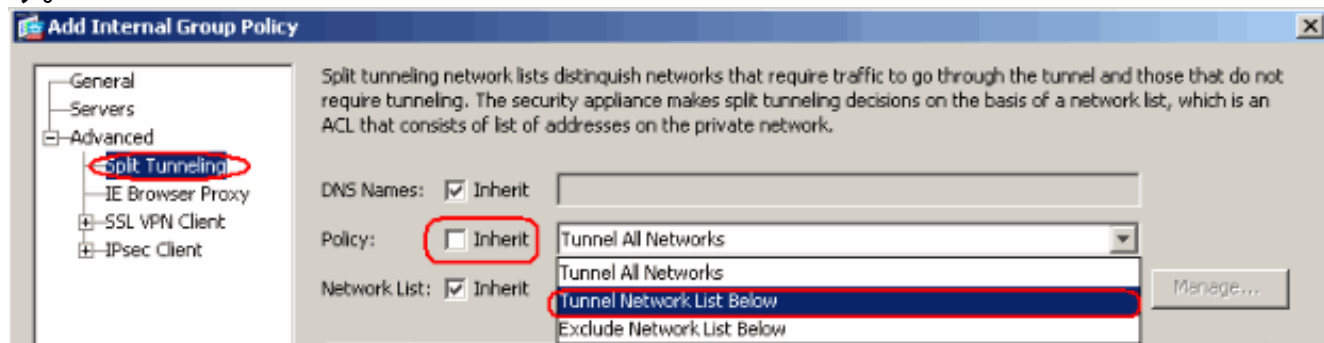


同等の CLI 設定

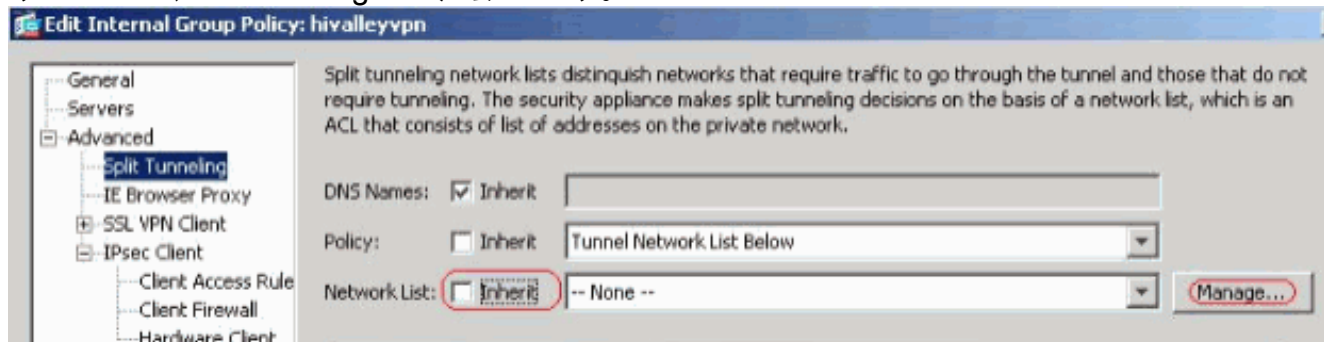
4. グループ ポリシーを設定します。[Configuration] > [Remote Access VPN] > [Network (Client) Access] > [Group Policies] を選択し、内部グループ ポリシー clientgroup を作成します。[General] タブの下で、[SSL VPN Client] チェックボックスをオンにし、トンネリング プロトコルとして WebVPN を有効にします。



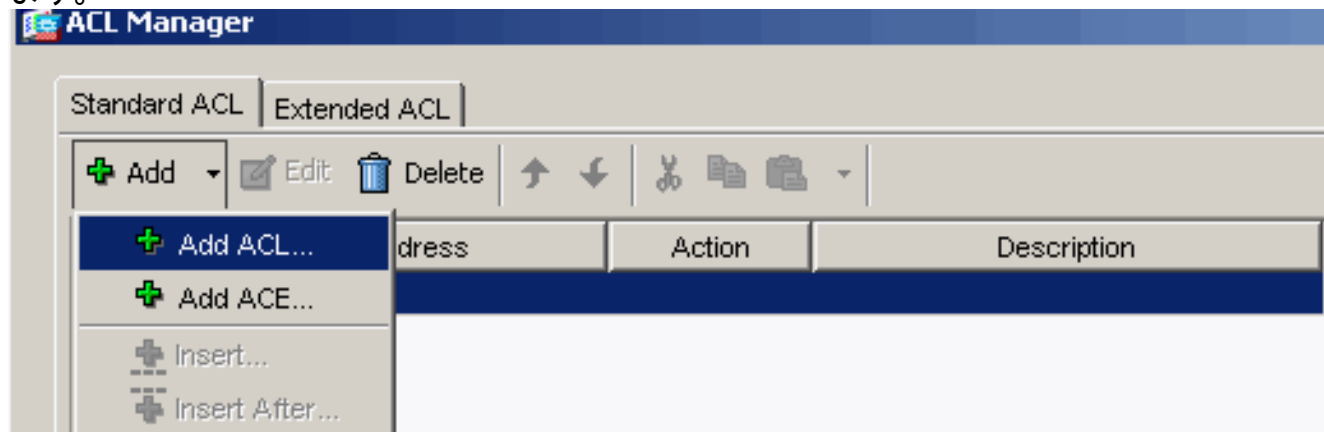
- [Advanced] > [Split Tunneling] タブで、スプリット トンネル ポリシー用の [Inherit] チェックボックスをオフにして、ドロップダウン リストから [Tunnel Network List Below] を選択します。



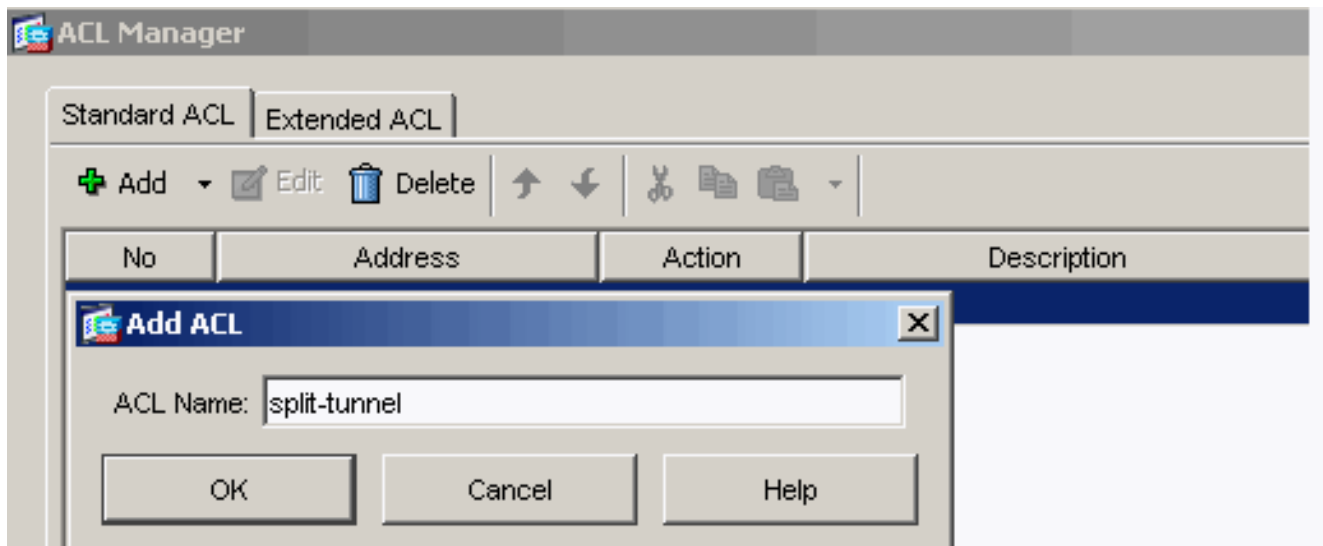
- [Split Tunnel Network List] の [Inherit] チェックボックスをオフにして [Manage] をクリックすることで、ACL Manager を起動します。



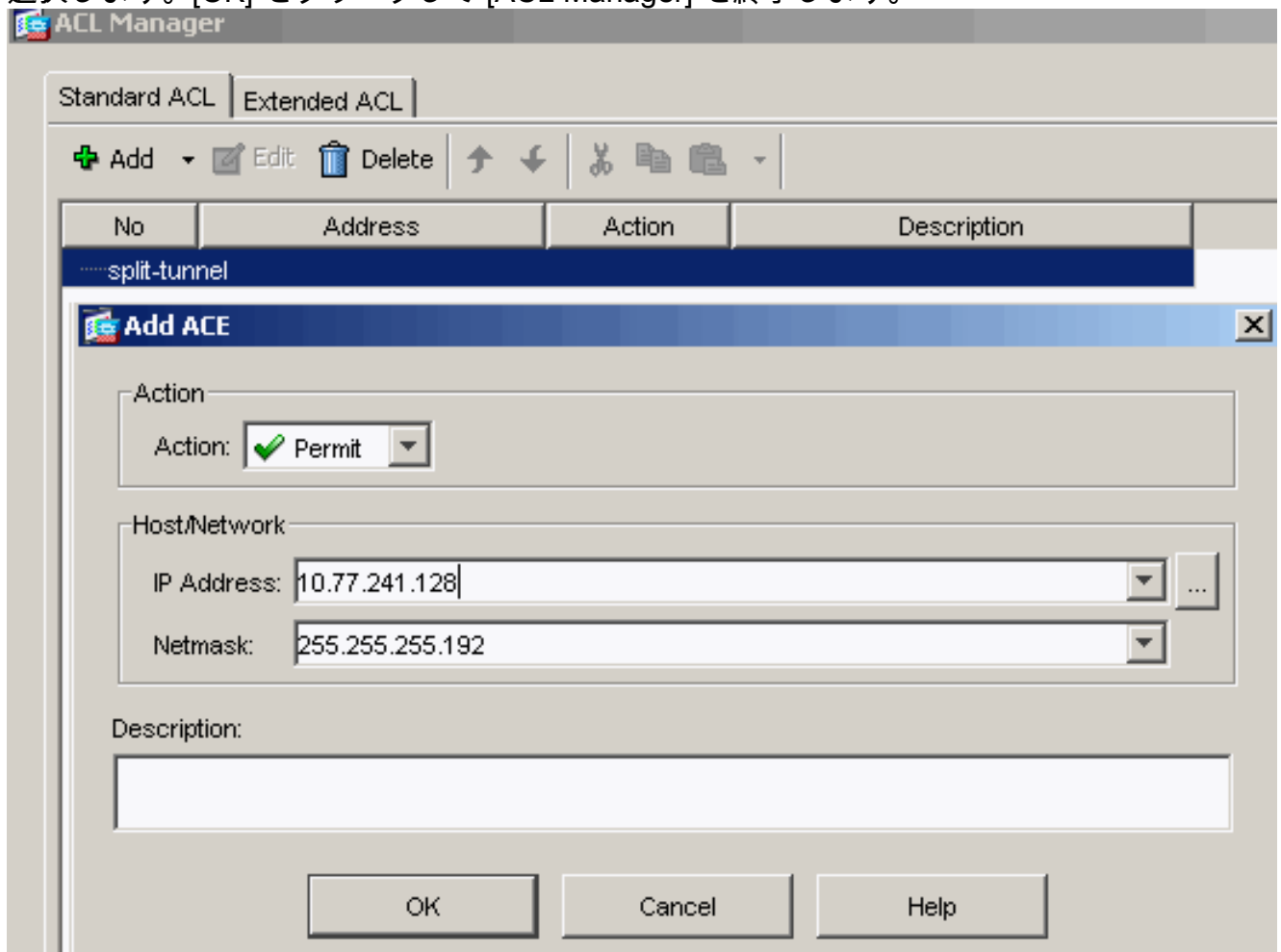
- [ACL Manager] で、[Add] > [Add ACL...] の順に選択して、新しいアクセス リストを作成します。



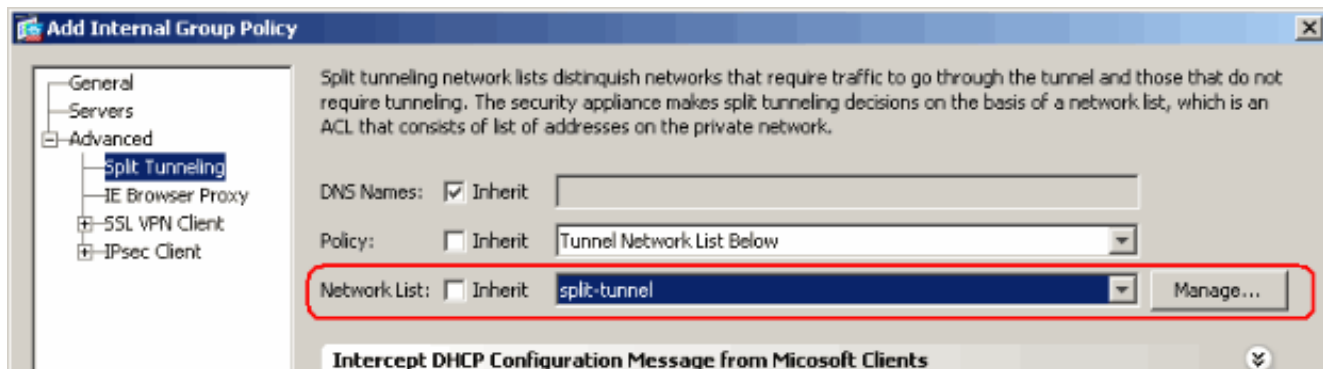
- ACL に名前を指定して [OK] をクリックします。



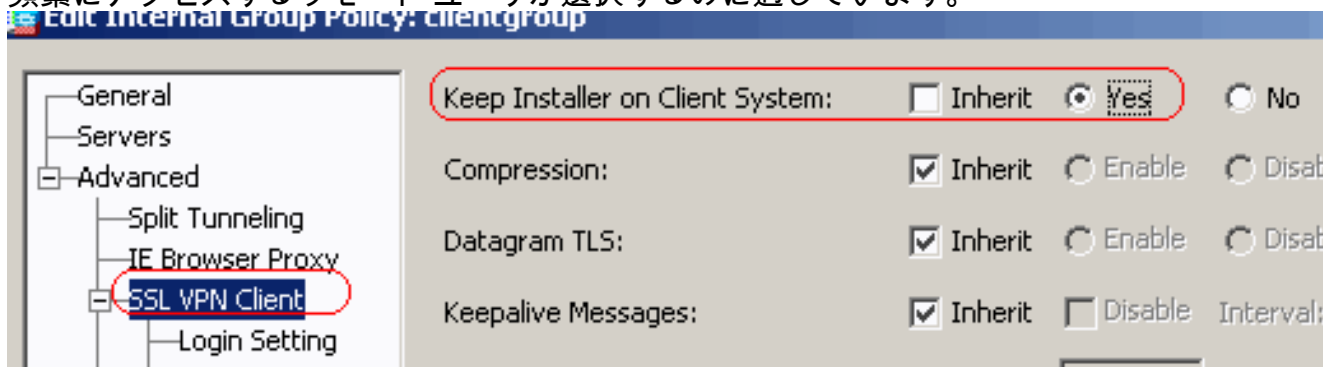
ACL 名が作成されてから、[Add] > [Add ACE] を選択して Access Control Entry (ACE; アクセスコントロール エントリ) を追加します。ASA の背後にある LAN に対応する ACE を定義します。この場合、ネットワークは 10.77.241.128/26 であり、[Action] として [Permit] を選択します。[OK] をクリックして [ACL Manager] を終了します。



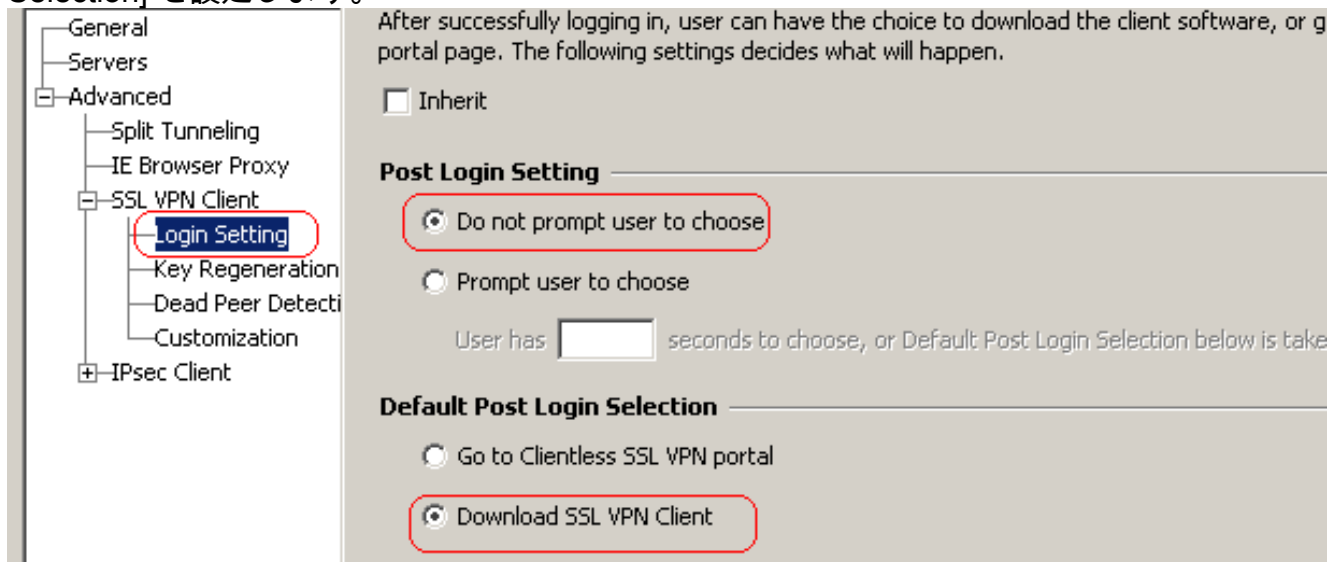
作成したばかりの ACL が split-tunnel ネットワーク リスト用に選択されていることを確認します。[OK] をクリックして、グループ ポリシー設定に戻ります。



メイン ページで、[Apply] をクリックしてから [Send] (必要な場合) をクリックして、コマンドを ASA に送信します。グループ ポリシー モードで **SSL VPN** を設定します。[Keep Installer on Client System] オプションで、[Inherit] チェック ボックスをオフにし、[Yes] オプション ボタンをクリックします。この操作によって、SVC ソフトウェアはクライアント マシン上に留まります。これにより、ASA は接続が確立するたびに SVC ソフトウェアをクライアントにダウンロードする必要がなくなります。このオプションは、社内ネットワークに頻繁にアクセスするリモート ユーザが選択するのに適しています。



[Login Setting] をクリックして、次に示すように [Post Login Setting] と [Default Post Login Selection] を設定します。



[Renegotiation Interval] オプションで、[Inherit] チェック ボックスをオフにし、[Unlimited] チェック ボックスをオフにし、キーの再生成が行われるまでの時間 (分) を入力します。セキュリティは、キーが有効である時間に制限を設けることで強化されます。[Renegotiation Method] オプションで、[Inherit] チェック ボックスをオフにして、[SSL] オプション ボタンをクリックします。再ネゴシエーションは、現在の SSL トンネルまたは再ネゴシエーション用に明示的に作成された新しいトンネルを使用できます。

General
Servers
Advanced

- Split Tunneling
- IE Browser Proxy
- SSL VPN Client
 - Login Setting
 - Key Regeneration**

Renegotiation Interval: Inherit Unlimited minutes

Renegotiation Method: Inherit None **SSL** New Tunnel

[OK] をクリックし、次に [Apply] をクリックします。

Configuration > Remote Access VPN > Network (Client) Access > Group Policies

Manage VPN group policies. A VPN group policy is a collection of user-oriented attribute/value pairs that may be stored internally or externally on a RADIUS/LDAP server. The group policy information is referenced by VPN tunnel groups and user accounts.

Name	Type	Tunneling Protocol	
clientgroup	Internal	svc	-- N/A --
DfltGrpPolicy (System Default)	Internal	L2TP-IPSec,IPSec,webvpn	-- N/A --

同等の CLI 設定

- [Configuration] > [Remote Access VPN] > [AAA Setup] > [Local Users] > [Add] を選択し、新しいユーザアカウント `ssluser1` を作成します。[OK] をクリックし、次に [Apply] をクリックします。

Add User Account

Identity

- VPN Policy

Username:

Password:

Confirm Password:

User authenticated using MSCHAP

Member-of

Member-of:

Access Restriction

Select one of the options below to restrict ASDM, SSH, Telnet and Console access.
Note: All users have network access, regardless of these settings.

Full access(ASDM, SSH, Telnet and Console)
Privilege level is used with command authorization.
Privilege Level:

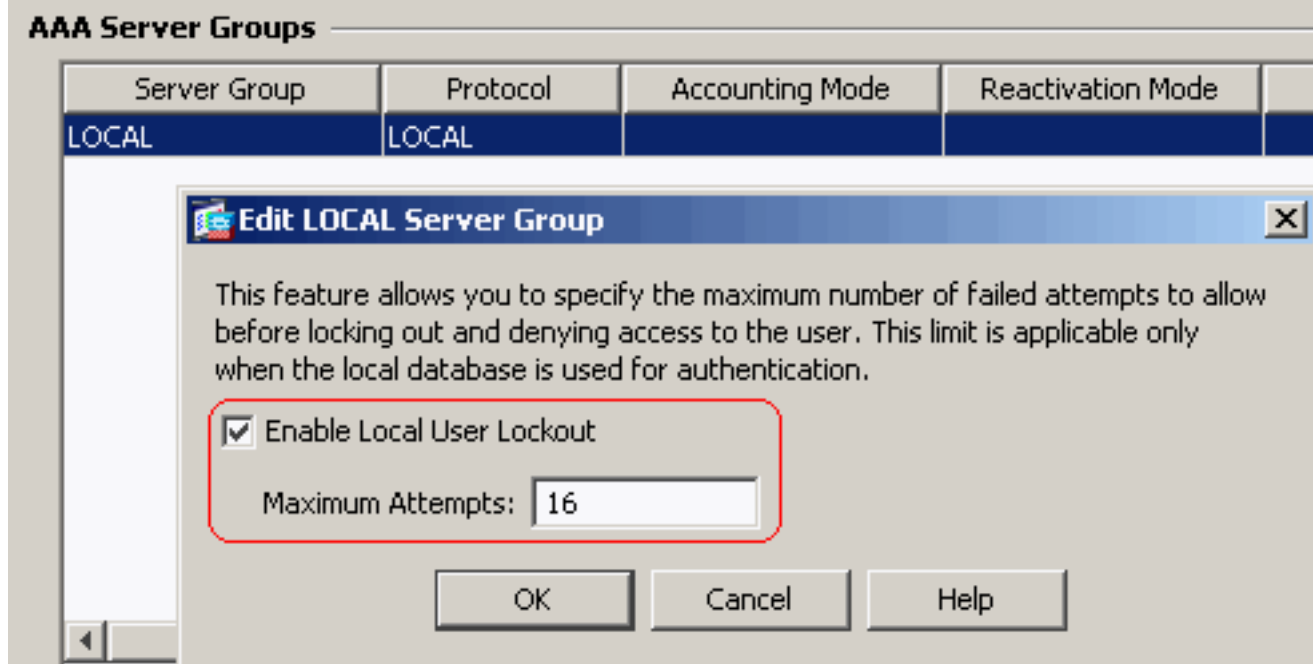
CLI login prompt for SSH, Telnet and console (no ASDM access)
This setting is effective only if AAA authenticate console command is configured.

No ASDM, SSH, Telnet or Console access
This setting is effective only if AAA authenticate console command is configured.

同等の CLI 設定

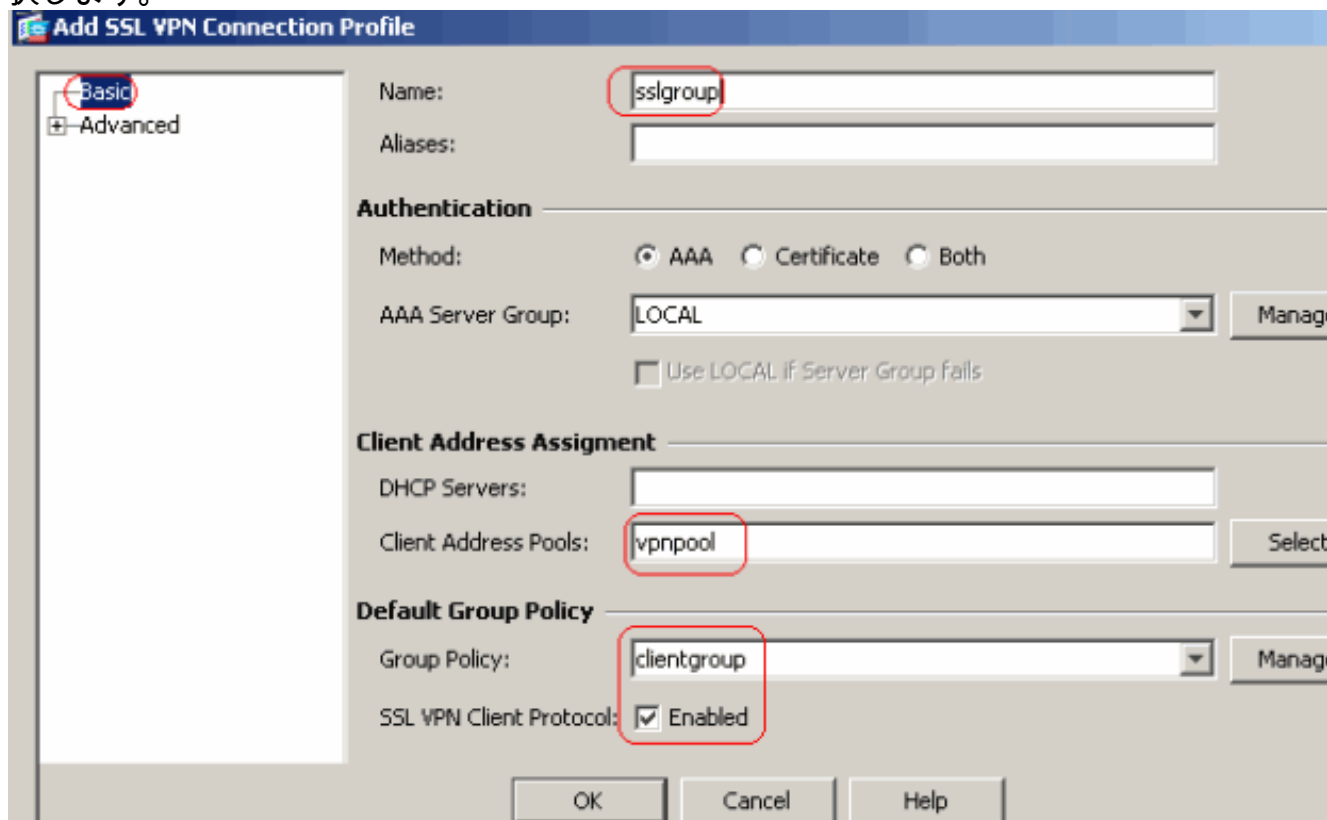
6. [Configuration] > [Remote Access VPN] > [AAA Setup] > [AAA Servers Groups] > [Edit] を選択し、[Enable Local User Lockout] チェック ボックスをオンにして最大試行値の 16 に設定することで、デフォルトのサーバグループ LOCAL を変更します。

Configuration > Remote Access VPN > AAA Setup > AAA Server Groups

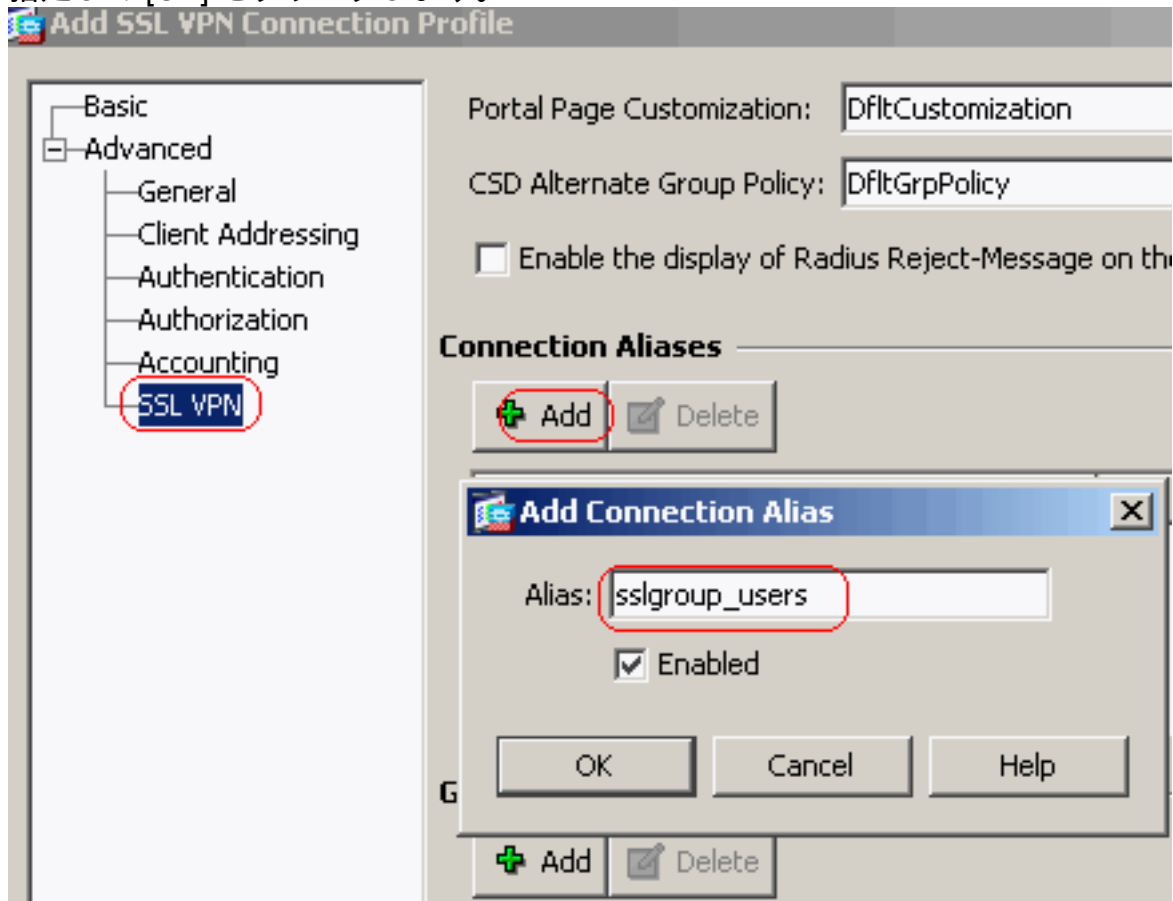


7. [OK] をクリックし、次に [Apply] をクリックします。同等の CLI 設定

8. トンネルグループを設定します。[Configuration] > [Remote Access VPN] > [Network (Client) Access] > [SSL VPN Connection Profiles Connection Profiles] > [Add] を選択し、新しいトンネルグループ **sslgroup** を作成します。[Basic] タブで、次に示すように設定のリストを実行できます。トンネルグループに **sslgroup** という名前を付けます。[Client Address Assignment] の下でドロップダウンリストからアドレスプール **vpnpool** を選択します。[Default Group Policy] の下でドロップダウンリストからグループポリシー **clientgroup** を選択します。



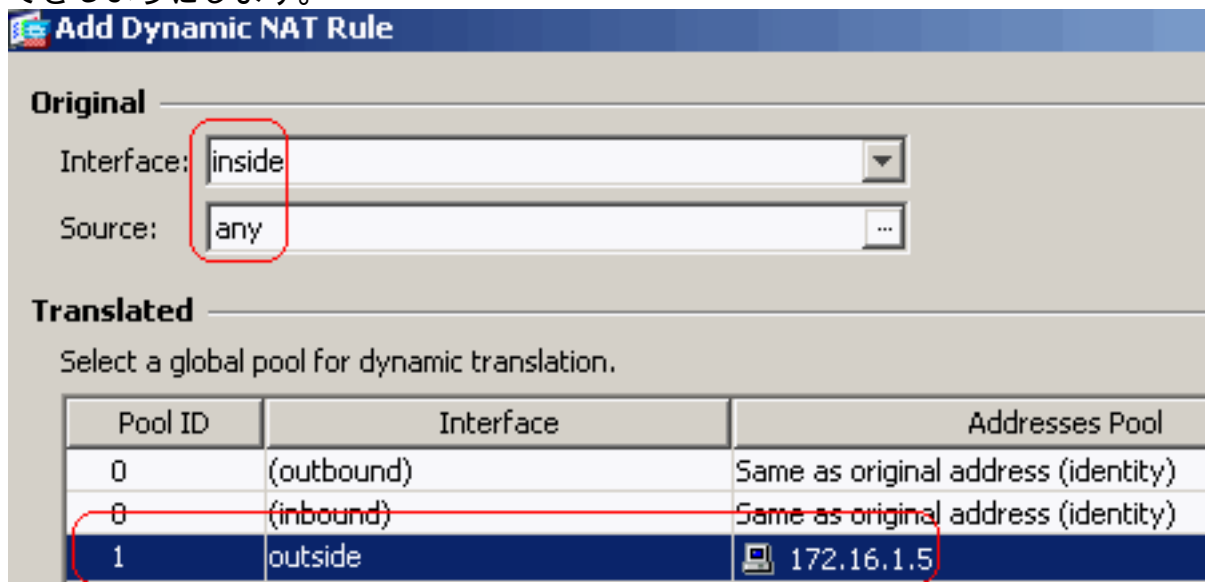
[SSL VPN] > [Connection Aliases] タブの下で、グループエイリアス名に `sslgroup_users` と指定して [OK] をクリックします。



[OK] をク

リックし、次に [Apply] をクリックします。同等の CLI 設定

9. NAT を設定します。[Configuration] > [Firewall] > [NAT Rules] > [Add Dynamic NAT Rule] を選択し、Inside ネットワークからのトラフィックが Outside IP アドレス 172.16.1.5 で変換できるようにします。



[OK] を

クリックします。[OK] をクリックします。

Configuration > Firewall > NAT Rules						
#	Type	Original			Interface	
		Source	Destination	Service		
[-] inside (1 Dynamic rules)						
1	Dynamic	any			outside	

[Apply] をクリックします。同等の CLI 設定

10. VPN クライアントにネットワーク内から戻るトラフィックの NAT 免除を設定します。

```
ciscoasa(config)#access-list nonat permit ip 10.77.241.0 192.168.10.0
ciscoasa(config)#access-list nonat permit ip 192.168.10.0 10.77.241.0
ciscoasa(config)#nat (inside) 0 access-list nonat
```

ASA CLI の設定

Cisco ASA 8.0(2)

```
ciscoasa(config)#show running-config
: Saved
:
ASA Version 8.0(2)
!
hostname ciscoasa
domain-name default.domain.invalid
enable password 8Ry2YjIyt7RRXU24 encrypted
names
!
interface Ethernet0/0
 nameif inside
 security-level 100
 ip address 10.77.241.142 255.255.255.192
!
interface Ethernet0/1
 nameif outside
 security-level 0
 ip address 172.16.1.1 255.255.255.0
!
interface Ethernet0/2
 shutdown
 no nameif
 no security-level
 no ip address
!
interface Ethernet0/3
 shutdown
 no nameif
 no security-level
 no ip address
!
interface Management0/0
 shutdown
 no nameif
 no security-level
 no ip address
!
passwd 2KFQnbNIdI.2KYOU encrypted
boot system disk0:/asa802-k8.bin
```

```

ftp mode passive
clock timezone IST 5 30
dns server-group DefaultDNS
  domain-name default.domain.invalid
access-list split-tunnel standard permit 10.77.241.128
255.255.255.192
!--- ACL for Split Tunnel network list for encryption.
access-list nonat permit ip 10.77.241.0 192.168.10.0
access-list nonat permit ip 192.168.10.0 10.77.241.0 !---
- ACL to define the traffic to be exempted from NAT.
pager lines 24 logging enable logging asdm informational
mtu inside 1500 mtu outside 1500 ip local pool vpnpool
192.168.10.1-192.168.10.254 mask 255.255.255.0

!--- The address pool for the Cisco AnyConnect SSL VPN
Clients no failover icmp unreachable rate-limit 1 burst-
size 1 asdm image disk0:/asdm-602.bin no asdm history
enable arp timeout 14400 global (outside) 1 172.16.1.5

!--- The global address for Internet access used by VPN
Clients. !--- Note: Uses an RFC 1918 range for lab
setup. !--- Apply an address from your public range
provided by your ISP. nat (inside) 0 access-list nonat
!--- The traffic permitted in "nonat" ACL is exempted
from NAT. nat (inside) 1 0.0.0.0 0.0.0.0

route outside 0.0.0.0 0.0.0.0 172.16.1.2 1
timeout xlate 3:00:00
timeout conn 1:00:00 half-closed 0:10:00 udp 0:02:00
icmp 0:00:02
timeout sunrpc 0:10:00 h323 0:05:00 h225 1:00:00 mgcp
0:05:00 mgcp-pat 0:05:00
timeout sip 0:30:00 sip_media 0:02:00 sip-invite 0:03:00
sip-disconnect 0:02:00
timeout uauth 0:05:00 absolute
dynamic-access-policy-record DfltAccessPolicy
http server enable
http 0.0.0.0 0.0.0.0 inside
no snmp-server location
no snmp-server contact
snmp-server enable traps snmp authentication linkup
linkdown coldstart
no crypto isakmp nat-traversal
telnet timeout 5
ssh timeout 5
console timeout 0
threat-detection basic-threat
threat-detection statistics access-list
!
class-map inspection_default
  match default-inspection-traffic
!
!
policy-map type inspect dns preset_dns_map
  parameters
    message-length maximum 512
policy-map global_policy
  class inspection_default
    inspect dns preset_dns_map
    inspect ftp
    inspect h323 h225
    inspect h323 ras
    inspect netbios

```

```
inspect rsh
inspect rtsp
inspect skinny
inspect esmtp
inspect sqlnet
inspect sunrpc
inspect tftp
inspect sip
inspect xdmcp
!
service-policy global_policy global
webvpn
  enable outside

  !--- Enable WebVPN on the outside interface svc image
disk0:/anyconnect-win-2.0.0343-k9.pkg 1

  !--- Assign an order to the AnyConnect SSL VPN Client
image svc enable

  !--- Enable the security appliance to download SVC
images to remote computers tunnel-group-list enable

  !--- Enable the display of the tunnel-group list on the
WebVPN Login page group-policy clientgroup internal

  !--- Create an internal group policy "clientgroup"
group-policy clientgroup attributes
  vpn-tunnel-protocol svc

  !--- Specify SSL as a permitted VPN tunneling protocol
split-tunnel-policy tunnelspecified
  split-tunnel-network-list value split-tunnel

  !--- Encrypt the traffic specified in the split tunnel
ACL only webvpn
  svc keep-installer installed

  !--- When the security appliance and the SVC perform a
rekey, they renegotiate !--- the crypto keys and
initialization vectors, increasing the security of the
connection. svc rekey time 30

  !--- Command that specifies the number of minutes from
the start of the !--- session until the rekey takes
place, from 1 to 10080 (1 week). svc rekey method ssl

  !--- Command that specifies that SSL renegotiation takes
place during SVC rekey. svc ask none default svc

username ssluser1 password ZRhW85jZqEaVd5P. encrypted

  !--- Create a user account "ssluser1" tunnel-group
sslgroup type remote-access

  !--- Create a tunnel group "sslgroup" with type as
remote access tunnel-group sslgroup general-attributes
  address-pool vpnpool

  !--- Associate the address pool vpnpool created default-
group-policy clientgroup

  !--- Associate the group policy "clientgroup" created
tunnel-group sslgroup webvpn-attributes
```

```
group-alias sslgroup_users enable
```

```
!--- Configure the group alias as sslgroup-users prompt  
hostname context  
Cryptochecksum:af3c4bfc4ffc07414c4dfbd29c5262a9 : end  
ciscoasa(config)#
```

SVC との SSL VPN 接続の確立

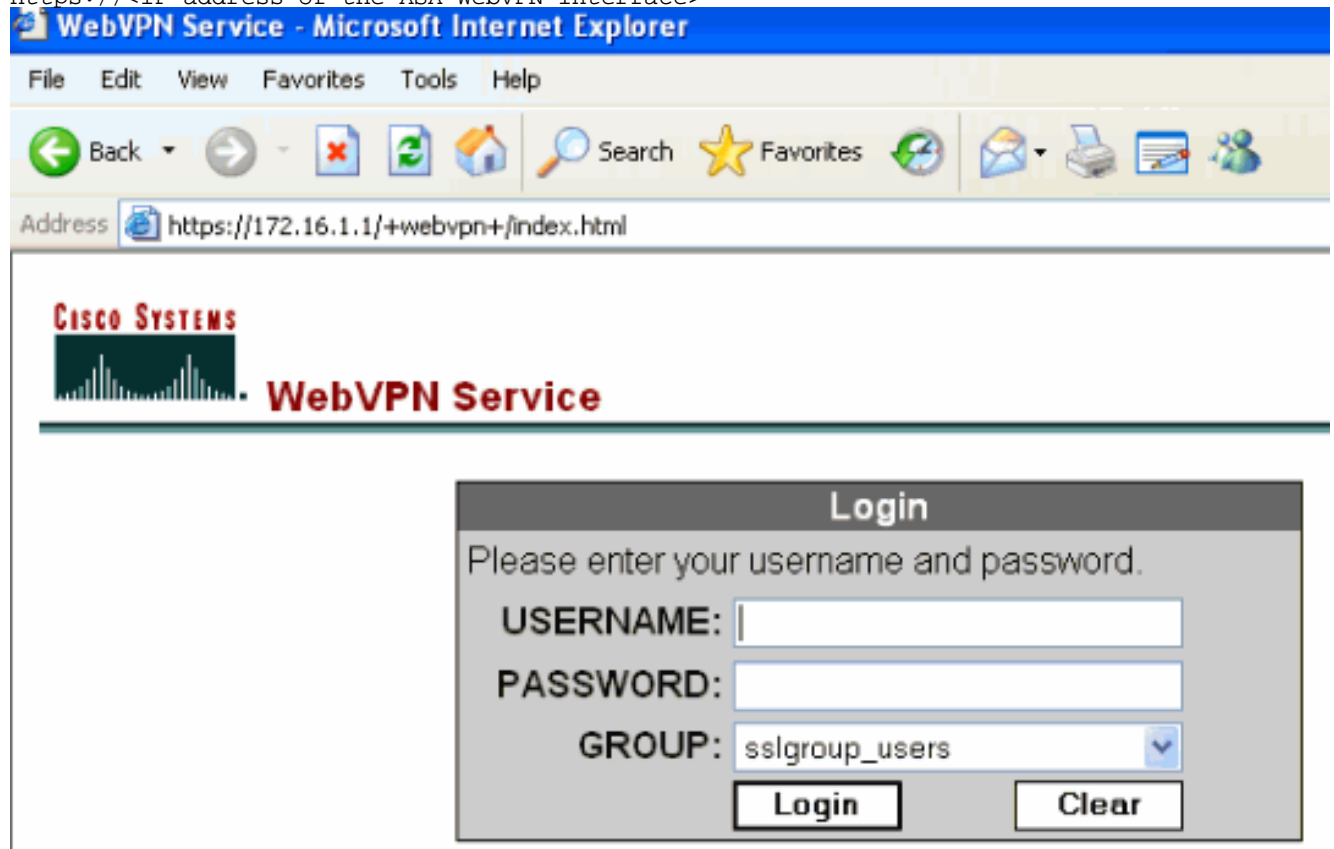
次の手順を実行して、ASA との SSL VPN 接続を確立します。

1. 次に示す形式で、Web ブラウザ内で ASA の WebVPN インターフェイスの URL または IP アドレスを入力します。

https://url

または

https://<IP address of the ASA WebVPN interface>



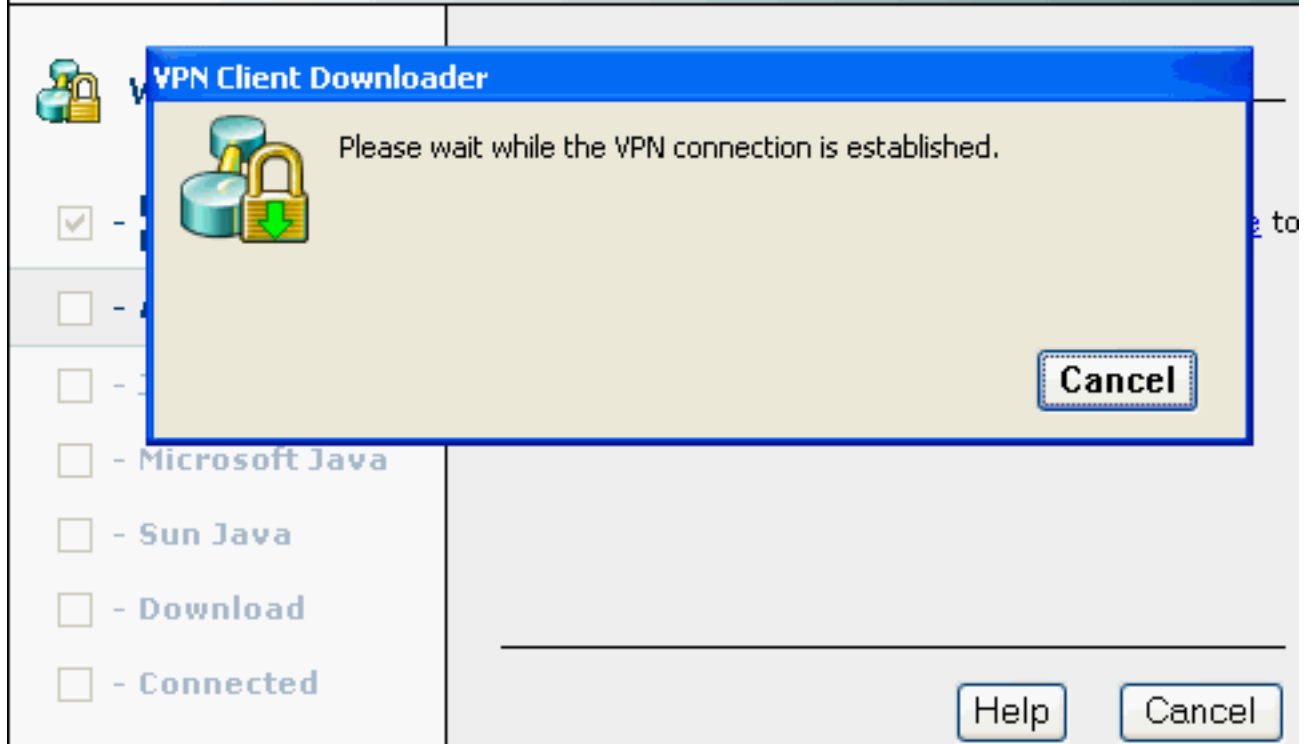
2. ユーザ名とパスワードを入力します。また、次に示すようにドロップダウン リストからそれぞれのグループを選択します。

SSL VPN 接続が確立

される前に次のウィンドウが表示されます。



Cisco AnyConnect VPN Client



注：SVCをダウンロードする前に、コンピュータにActiveXソフトウェアをインストールする必要があります。接続が確立されると、このウィンドウが表示されます。



Cisco AnyConnect VPN Client



WebLaunch

- Platform Detection
- ActiveX
- Java Detection
- Microsoft Java
- Sun Java
- Download
- Connected

Connection Established

The Cisco AnyConnect VPN Client has successfully connected.

The connection can be controlled from the tray icon, circled in the image below:



Help

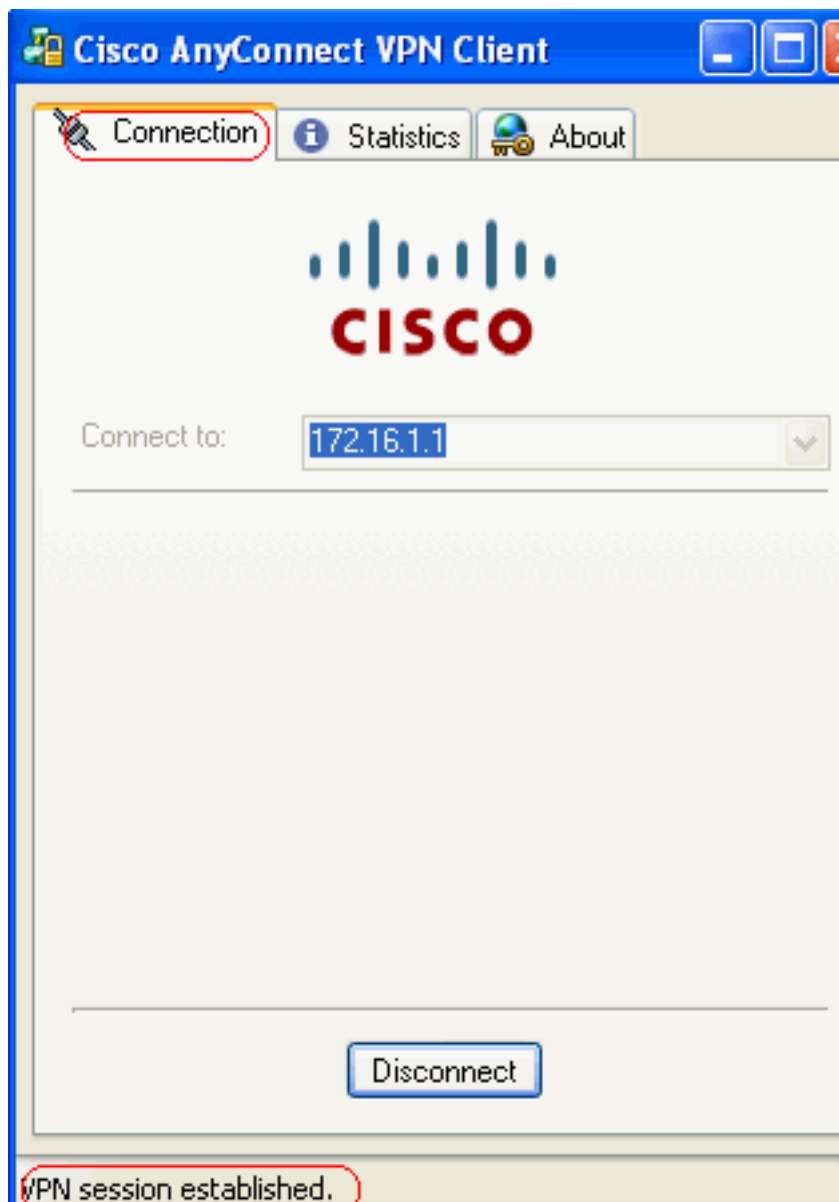
Cancel

system...

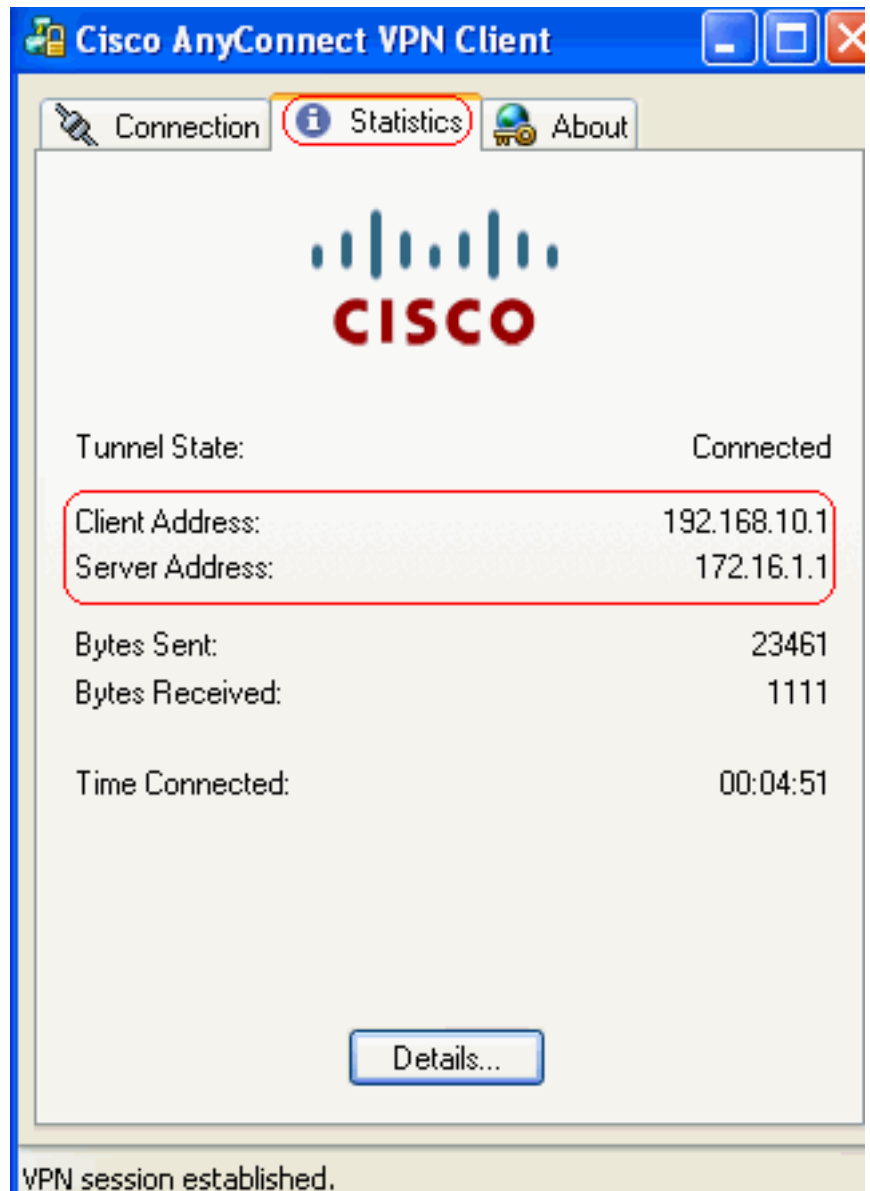
anyconnect - Paint

Cisco AnyConnect
Connected

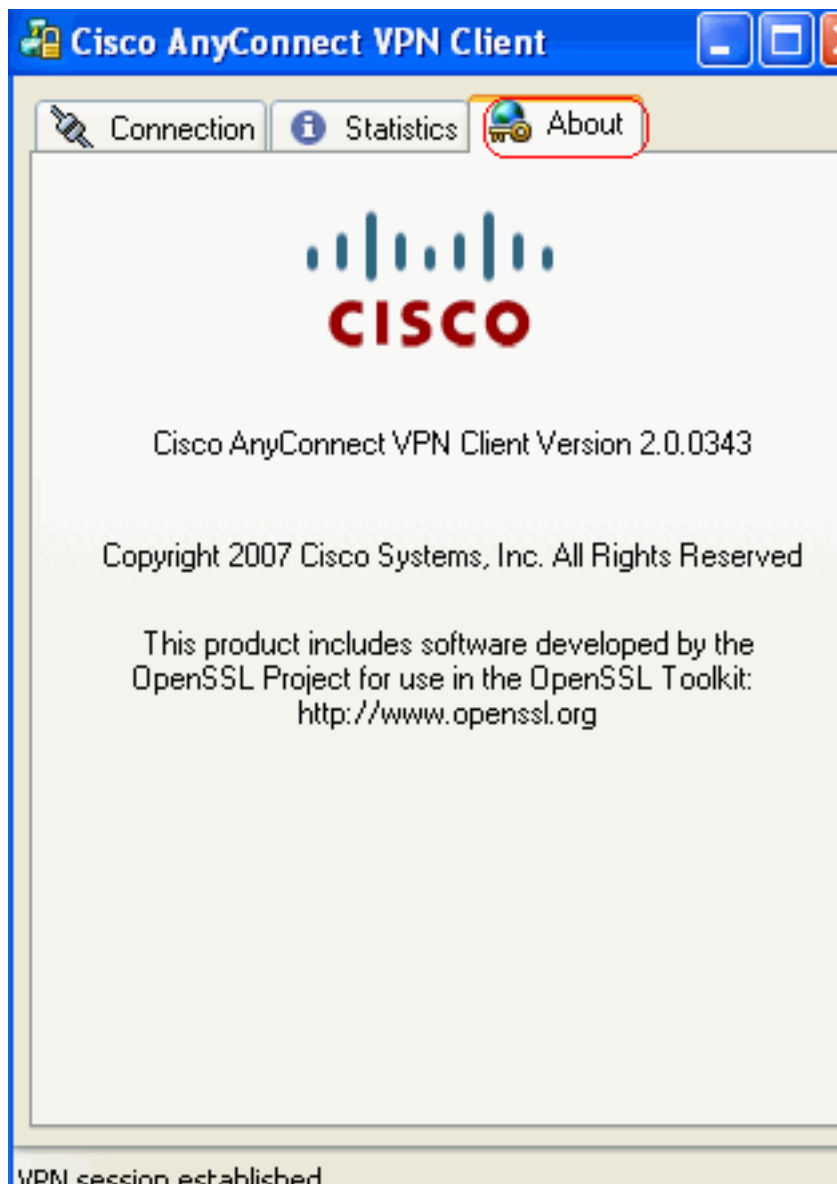
3. コンピュータのタスクバーに表示される錠をクリックします。



このウィンドウが表示され、SSL 接続についての情報が提供されます。たとえば、192.168.10.1 は ASA によって割り当てら



れた IP であるなどです。このウ
インドウは、Cisco AnyConnect VPN Client バージョンの情報を示しています。



確認

ここでは、設定が正常に機能しているかどうかを確認します。

[アウトプット インタープリタ ツール \(登録ユーザ専用\) \(OIT\)](#) は、特定の show コマンドをサポートします。OIT を使用して、show コマンドの出力の分析を表示します。

- **show webvpn svc** : ASA フラッシュ メモリに格納された SVC イメージを表示します。

```
ciscoasa#show webvpn svc
1. disk0:/anyconnect-win-2.0.0343-k9.pkg 1
   CISCO STC win2k+
   2,0,0343
   Mon 04/23/2007 4:16:34.63

1 SSL VPN Client(s) installed
```

- **show VPN-sessiondb svc** : 現在の SSL 接続についての情報を表示します。

```
ciscoasa#show vpn-sessiondb svc
```

```
Session Type: SVC
```

```
Username      : ssluser1
```

```
Index
```

```
: 12
```

```
Assigned IP : 192.168.10.1      Public IP : 192.168.1.1
Protocol : Clientless SSL-Tunnel DTLS-Tunnel
Encryption : RC4 AES128      Hashing : SHA1
Bytes Tx : 194118            Bytes Rx : 197448
Group Policy : clientgroup    Tunnel Group : sslgroup
Login Time : 17:12:23 IST Mon Mar 24 2008
Duration : 0h:12m:00s
NAC Result : Unknown
VLAN Mapping : N/A          VLAN : none
```

- **show webvpn group-alias** : さまざまなグループに対する設定済みのエイリアスを表示します

```
ciscoasa#show webvpn group-alias
Tunnel Group: sslgroup   Group Alias: sslgroup_users enabled
```

- ASDM で、[Monitoring] > [VPN] > [VPN Statistics] > [Sessions] を選択すると、ASA の現在の WebVPN セッションがわかります。

Monitoring > VPN > VPN Statistics > Sessions

Remote Access	Site-to-Site	SSL VPN			E-mail Proxy	VPN Load Balancing
		Clientless	With Client	Total		
0	0	0	0	0	0	

Filter By: **SSL VPN Client** -- All Sessions -- Filter

Username IP Address	Group Policy Connection	Protocol Encryption	Login Time Duration	Byt Byt
ssluser1 192.168.10.1	clientgroup sslgroup	Clientless SSL-Tunnel DT... RC4 AES128	17:12:23 IST Mon Mar 24 2008 0h:03m:31s	194118 192474

トラブルシューティング

ここでは、設定のトラブルシューティングに使用できる情報を示します。

1. **vpn-sessiondb logoff name <ユーザ名>** : 特定のユーザ名の SSL VPN セッションをログオフするコマンドです。

```
ciscoasa#vpn-sessiondb logoff name ssluser1
Do you want to logoff the VPN session(s)? [confirm] Y
INFO: Number of sessions with name "ssluser1" logged off : 1

ciscoasa#Called vpn_remove_uauth: success!
webvpn_svc_np_tear_down: no ACL
webvpn_svc_np_tear_down: no IPv6 ACL
np_svc_destroy_session(0xB000)
```

同様に、**vpn-sessiondb logoff svc** コマンドを使用すると、すべての SVC セッションを終了できます。

2. **注** : PCがスタンバイモードまたは休止モードになると、SSL VPN接続を終了できます。

```
webvpn_rx_data_cstp
webvpn_rx_data_cstp: got message
SVC message: t/s=5/16: Client PC is going into suspend mode (Sleep, Hibernate, etc)
Called vpn_remove_uauth: success!
webvpn_svc_np_tear_down: no ACL
webvpn_svc_np_tear_down: no IPv6 ACL
```

```
np_svc_destroy_session(0xA000)
```

```
ciscoasa#show vpn-sessiondb svc  
INFO: There are presently no active sessions
```

3. debug webvpn svc <1-255> : セッションを確立するために、リアルタイムの webvpn イベントを提供します。

```
Ciscoasa#debug webvpn svc 7
```

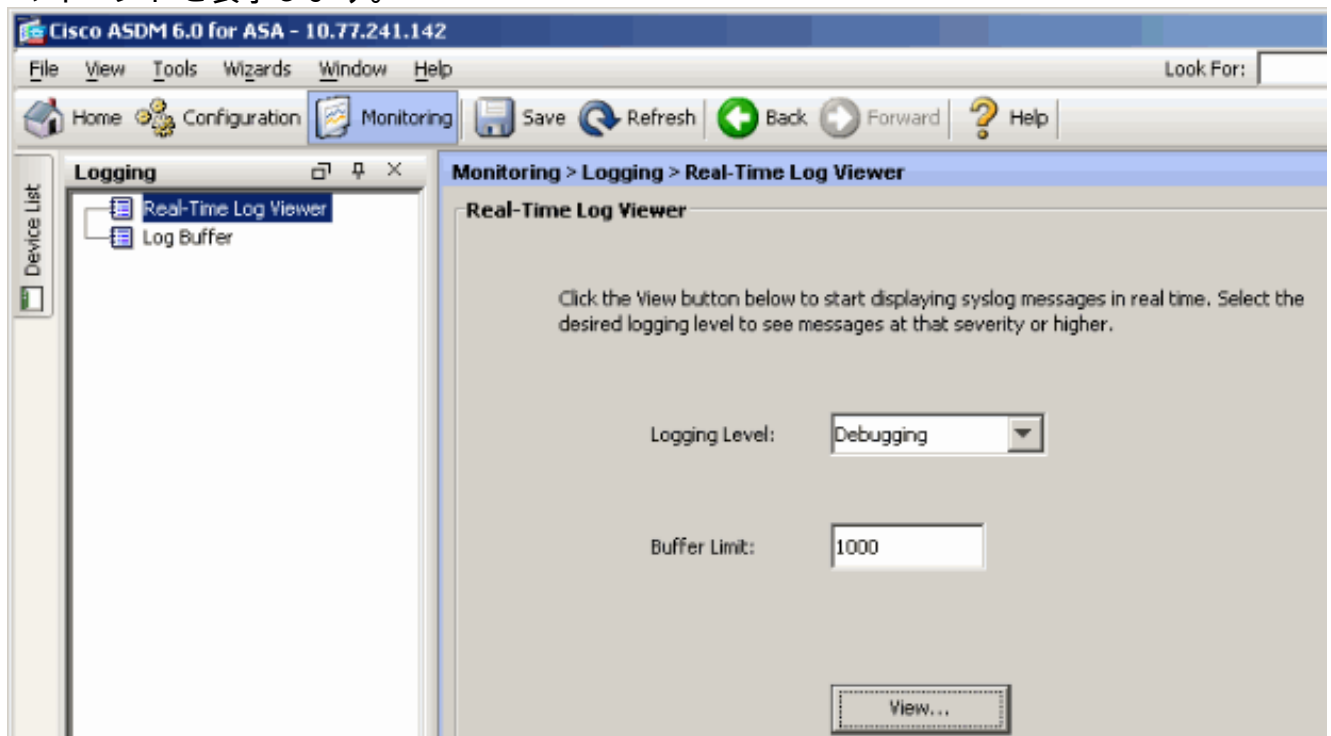
```
webvpn_rx_data_tunnel_connect  
CSTP state = HEADER_PROCESSING  
http_parse_cstp_method()  
...input: 'CONNECT /CSCOSSLC/tunnel HTTP/1.1'  
webvpn_cstp_parse_request_field()  
...input: 'Host: 172.16.1.1'  
Processing CSTP header line: 'Host: 172.16.1.1'  
webvpn_cstp_parse_request_field()  
...input: 'User-Agent: Cisco AnyConnect VPN Client 2, 0, 0343'  
Processing CSTP header line: 'User-Agent: Cisco AnyConnect VPN Client 2, 0, 0343'  
,  
Setting user-agent to: 'Cisco AnyConnect VPN Client 2, 0, 0343'  
webvpn_cstp_parse_request_field()  
...input: 'Cookie: webvpn=16885952@12288@1206098825@D251883E8625B92C1338D631B08B7D75F4EDEF26'  
Processing CSTP header line: 'Cookie: webvpn=16885952@12288@1206098825@D251883E8625B92C1338D631B08B7D75F4EDEF26'  
Found WebVPN cookie: 'webvpn=16885952@12288@1206098825@D251883E8625B92C1338D631B08B7D75F4EDEF26'  
WebVPN Cookie: 'webvpn=16885952@12288@1206098825@D251883E8625B92C1338D631B08B7D75F4EDEF26'  
webvpn_cstp_parse_request_field()  
...input: 'X-CSTP-Version: 1'  
Processing CSTP header line: 'X-CSTP-Version: 1'  
Setting version to '1'  
webvpn_cstp_parse_request_field()  
...input: 'X-CSTP-Hostname: tacweb'  
Processing CSTP header line: 'X-CSTP-Hostname: tacweb'  
Setting hostname to: 'tacweb'  
webvpn_cstp_parse_request_field()  
...input: 'X-CSTP-Accept-Encoding: deflate;q=1.0'  
Processing CSTP header line: 'X-CSTP-Accept-Encoding: deflate;q=1.0'  
webvpn_cstp_parse_request_field()  
...input: 'X-CSTP-MTU: 1206'  
Processing CSTP header line: 'X-CSTP-MTU: 1206'  
webvpn_cstp_parse_request_field()  
...input: 'X-CSTP-Address-Type: IPv4'  
Processing CSTP header line: 'X-CSTP-Address-Type: IPv4'  
webvpn_cstp_parse_request_field()  
...input: 'X-DTLS-Master-Secret: CE151BA2107437EDE5EC4F5EE6AEBAC12031550B1812D40642E22C6AF9501758FF3B7B5545973C06F6393C92E59693'  
Processing CSTP header line: 'X-DTLS-Master-Secret: CE151BA2107437EDE5EC4F5EE6AEBAC12031550B1812D40642E22C6AF9501758FF3B7B5545973C06F6393C92E59693'  
webvpn_cstp_parse_request_field()  
...input: 'X-DTLS-CipherSuite: AES256-SHA:AES128-SHA:DES-CBC3-SHA:DES-CBC-SHA'  
Processing CSTP header line: 'X-DTLS-CipherSuite: AES256-SHA:AES128-SHA:DES-CBC3-SHA:DES-CBC-SHA'  
Validating address: 0.0.0.0  
CSTP state = WAIT_FOR_ADDRESS  
webvpn_cstp_accept_address: 192.168.10.1/0.0.0.0  
CSTP state = HAVE_ADDRESS  
No subnetmask... must calculate it  
SVC: NP setup
```

```

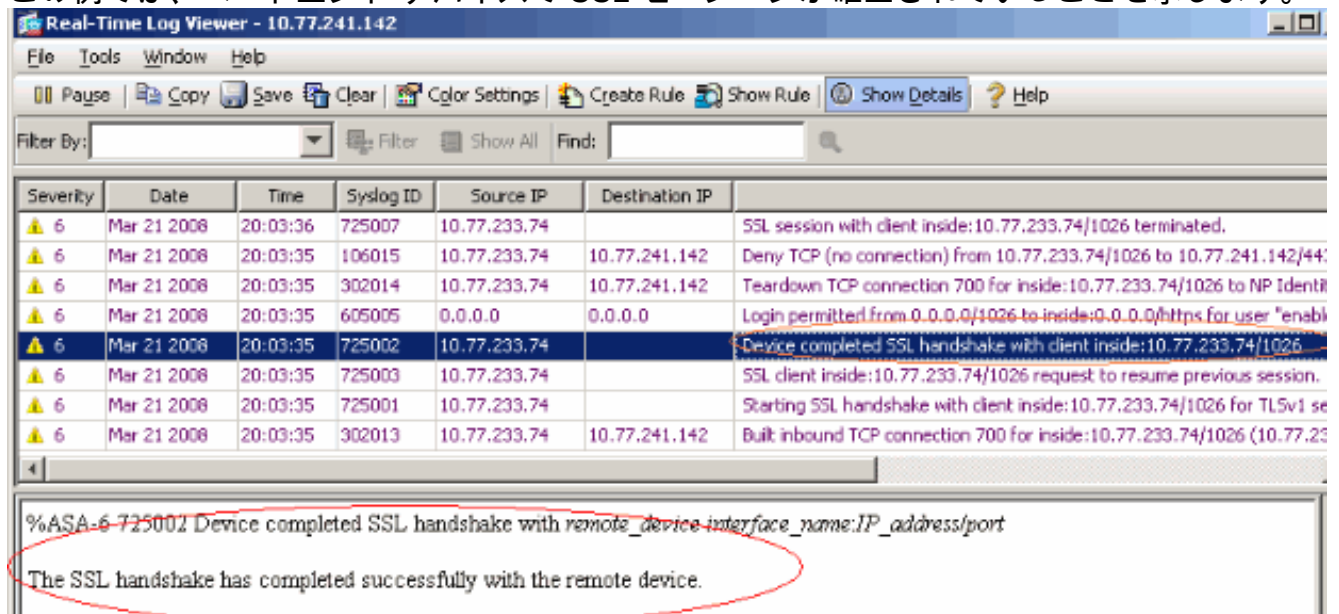
np_svc_create_session(0x3000, 0xD41611E8, TRUE)
webvpn_svc_np_setup
SVC ACL Name: NULL
SVC ACL ID: -1
SVC ACL ID: -1
vpn_put_uauth success!
SVC IPv6 ACL Name: NULL
SVC IPv6 ACL ID: -1
SVC: adding to sessmgmt
SVC: Sending response
Unable to initiate NAC, NAC might not be enabled or invalid policy
CSTP state = CONNECTED
webvpn_rx_data_cstp
webvpn_rx_data_cstp: got internal message
Unable to initiate NAC, NAC might not be enabled or invalid policy

```

4. ASDM で、[Monitoring] > [Logging] > [Real-time Log Viewer] > [View] を選択してリアルタイム イベントを表示します。



この例では、ヘッドエンドデバイスで SSL セッションが確立されていることを示します。



関連情報

- [Cisco 5500 シリーズ適応型セキュリティ アプライアンスに関するサポート ページ](#)
- [AnyConnect VPN クライアント リリース 2.0 のリリース ノート](#)
- [ASA/PIX : PIX/ASA 7.x : ASA で VPN クライアントのスプリット トンネリングを許可するための設定例](#)
- [スプリット トンネリングを使用する VPN クライアントが IPSec とインターネットに接続するのをルータで許可する設定例](#)
- [公衆インターネット VPN on a Stick のための PIX/ASA 7.x および VPN クライアント間の設定例](#)
- [ASDM を使用した ASA での SSL VPN Client \(SVC \) の設定例](#)
- [テクニカル サポートとドキュメント – Cisco Systems](#)